

2024.12

No.21

おひさまカフェ 「流木 de ワークショップ」

毎月第2日曜日の午後、月に一度みんなと一緒に楽しめる交流会を行っています！どなたでも自由に参加できます。

2月のおひさまカフェは、桂川の川岸に流れ着いた流木を使って、自分だけのオリジナル写真フレームやオブジェを作ります！保津川(大堰川)の上流から流れついた木枝などを観察しながら、みんなで楽しく作りましょう！

～自然環境と水害のおはなし～も聞かせていただきます。
是非ご参加くださいね！



日時：令和7年2月9日(日) 午後2時～3時

場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター

申込：不要 参加費：無料

講師：石津知子さん(淀川管内河川レンジャー)

みなさまのご参加をお待ちしています。

今後の予定（詳しくはお問い合わせください）

- 令和7年1月12日 新春お茶会（参加費無料）
- 令和7年2月9日 流木deワークショップ（参加費無料）
- 令和7年3月9日 うたごえカフェ（参加費：100円）

上鳥羽北部いきいき市民活動センターサロン

伝わる話し方講座

絵本の読み聞かせ
もあります

話し方・読み方のちょっとしたコツを楽しく学んでみませんか

講師 山田 恵子さん

・開催日：令和7年3月8日(土)

・時間：午後1時30分～午後3時

・場所：上鳥羽北部いきいき市民活動センター2階サロン

・申込：不要 どなたでもご自由にご参加ください

上鳥羽自治連合会の取り組み

あんしん あんぜん エコのまち かみとば

子どもたちの未来のために、住みよいまちづくりを推進します！

南区民ふれあいまつり

日時：令和6年11月10日(日) 午前10時～午後3時

会場：唐橋西寺公園・唐橋小学校体育館

主催：南区民ふれあい事業実行委員会

「南区民ふれあいまつり」に参加協力しました。

南区のそれぞれの学区が様々な模擬店を出店する中、上鳥羽学区は「ミニ花ポット」と「喫茶 MURAKAMI のホットコーヒー」の販売をしました。当日は気持ちの良い秋晴れに恵まれ南区民がこぞって来場する賑やかな一日となり、準備した「花苗」と「ホットコーヒー」も大好評で完売しました。

唐橋小学校の体育館では、吹奏楽やダンスなど日頃の練習の成果を披露するステージパフォーマンス「文化芸能まつり」で盛り上がっていました。

市民しんぶんや町内回覧などでも事前告知がありましたが、とっても楽しい「南区民のおまつり」です。まだ行ったことがない方も来年は是非ご参加ください。（毎年11月第2日曜日開催予定）



このレターの内容に関するお問合せ、お申し込み、情報提供は
「上鳥羽北部いきいき市民活動センター」までご連絡ください。
Tel. 075-691-9098 E-mail: kamitobahokubu@inetsbb.com

上鳥羽北部 “いきセン” newsレター

つなぐ

人

心

想

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
京都市南区上鳥羽南唐戸町 62-2 ☎ 075-801-8107
Tel. 075-691-9098 Fax. 075-662-0910

ktb-ikisen.jp/

上鳥羽の人・心・想を“つなぐ”

いきいき上鳥羽プロジェクト

「上鳥羽をもっと楽しく元気なまちにするために、やってみたい！こんなこと」をコンセプトに『上鳥羽が大好き』な仲間が集まり2017年（平成29年）11月に“いきいき上鳥羽プロジェクト”が発足しました。

以来、地域との『つながり』を大切に“地域の人たち”と“上鳥羽北部いきセン”が協力して活動を続けています。

皆さまのご参加も大歓迎です！

夏の夜市に向けフォークダンスの練習（平成30年7月）

SNS
[Instagram](#) [LINE](#) [YouTube](#)

発行
京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
いきいき上鳥羽プロジェクト

いきいき上鳥羽プロジェクト 活動紹介

上鳥羽の歴史を探る

令和5年9月に行なった「第1回 上鳥羽伝承座談会」に参加された石津知子さんから、上鳥羽地区でも大きな被害があった水害の歴史を子どもたちに伝えたいという思いが寄せられました。その思いを伝えるため、プロジェクトメンバーで案を出し合い「第2回 上鳥羽伝承座談会」の開催が決まりました。



ミーティング参加者 田中さんのコメント

南北朝時代、正平七年（1367年）夏の日照りが続き天皇の勅命で山城の国桂川の岬鍋ヶ淵で数百人の僧を率い請雨の祈祷が行われ、その場所に日蓮宗の寺院実相寺が創建されたと伝わります。また上鳥羽は、淀川から高瀬川を行きかう船の荷揚げ場として賑わったとも聞きます。その反面「水つき」と付き合ってきた歴史もあります。普段は、高い堤防や大きな排水機に守られ水害を意識することはありませんが、最近特に災害への備えの大切さを感じます。

田中真弥

上鳥羽ミニ検定

上鳥羽の歴史を探るクイズ？

上鳥羽を流れる西高瀬川は、かつて物資輸送に利用されており、船着き場がありました。右図AとBの名称をそれぞれ選んでください。

①問屋の浜 ②田辺の浜 ③米浜
④錢喜の浜 ⑤八軒家浜

答えは右下をご覧ください。

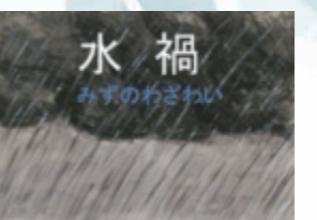
第2回

上鳥羽伝承座談会

令和6年10月14日（月）

防災紙芝居 水禍（みずのわざわい）

昭和10年京都大水害一上賀茂小学校の生徒たちの体験を今のお達に教えてくれます。



淀川管内河川レンジャーとしても活躍されている石津知子さんの思い

農業と水の歴史が続いてきた上鳥羽の人々の暮らしを伝えていく試みに共感しています。どんなに生活が便利に様変わりしても、過去を知り語ることなしに未来を見通す力は得られないと思います。上鳥羽地域は水害に苦しんできた歴史がありますが、お話を聞いていると昔から住んでおられる皆さんは、災害が身近だったゆえに特別なことだと思わなかった？のかもしれません。そんな不屈の精神や非常時の心構えを何とかして、河川レンジャーとして次世代の子供たちに伝えていきたいです。

※河川レンジャーは、「川と人、人と人を結ぶ」をコンセプトに淀川や淀川水系の環境保全や防災など様々な分野で活動しています。



水害を経験された方の貴重なお話を伺いました

上鳥羽在住94歳のはるこさんが、29歳の時に経験した昭和34年（1959年）の「京都市8.13水害」のこと。

8月13日の夜、家族の多くは広間のある2階に避難しましたが、妊娠8ヶ月でお腹が大きかったはるこさんら数名だけは、1階の仏間に板と畳を重ねた「うま」の上で辛抱しました。さいわい水はそこまでは上がりませんでしたが、家の西側は湖のようになり、泥水が流れ込んでしまいました。水が引いてから、たくさんの家財や商売道具を拭いたそうです。

おなかの子どもはその後無事に生まれ、建物もお膳も食器も健在です。

（聞きとりと文：かとうゆうこ）

地球温暖化の影響とも言われる集中豪雨や巨大地震が心配される今災害の歴史を知り・学び・伝え 自然災害への「備え」をみんなで考えていきましょう。

上鳥羽北部いきいき市民活動センター

ラジオ体操

いきいき上鳥羽プロジェクト

夕方のひととき、いきいきラジオ体操で仲間と共に健康づくりを・・・あなたもぜひ参加しませんか？



これからも、健康を維持するために続けていきたいです。

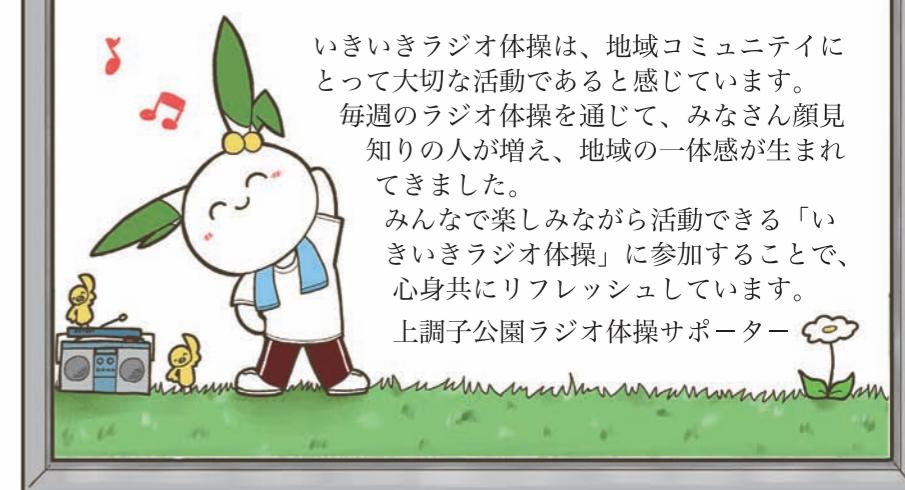
毎週のラジオ体操が待ち遠しく感じるようになりました。

いきいきラジオ体操は、地域コミュニティにとって大切な活動であると感じています。

毎週のラジオ体操を通じて、みなさん顔見知りの人が増え、地域の一体感が生まれてきました。

みんなで楽しみながら活動できる「いきいきラジオ体操」に参加することで、心身共にリフレッシュしています。

上調子公園ラジオ体操センター



●いきいきラジオ体操

- 毎週金曜日 ①上調子公園 午後4時スタート
- ②島田公園 午後4時スタート
- 毎週水曜日 ③奈須野公園 午後4時スタート

地域や人とつながろう！



事務局連絡会議の議論を元に、この企画が誕生しました。この企画は、地域の活性化や防災意識の向上を目指す取り組みです。多くの人々が参加する中で、地域のつながりが強まり、地域の一体感が生まれます。



浜の風景④



浜の風景①

